

<p>1. 山田 忠晴 (公明党)</p>	<p>1. 第6次総合計画の重点戦略の平成29年度の実施及び第5次行政改革の実施について</p> <p>(1) 交流の戦略において、北陸新幹線を観光誘客に生かす実施を通し、その成果としての観光客や交流客の動向をどのように捉えているか。更なる誘客増を目指してどう取り組むのか。</p> <p>(2) 事務事業の総点検に基づく実施や市の施設の再配置などを推進していると思うが、実績や課題はどうか。また、課題を踏まえての今後の見通しなどをどう捉えているか聞きたい。</p> <p>2. 地方創生の実施について</p> <p>(1) 「街の再生」における街なか居住の促進と交流人口の拡大の観点で、平成29年度の実施成果をどう総括しているか。また、今後の見通しをどう考えているか聞きたい。</p> <p>3. 議案第77号平成29年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 市税は前年度と比較し0.6%増と伸びており、「実質的な普通交付税」も前年度と比べ1.1%減と大きな減額にならなかった一方で、必要な住民サービスのコストは増加している。財政健全化を見据えながら、どのように行政サービスの提供と政策推進を図ったか。</p> <p>(2) 農業費において、コメ生産における農業経営のコスト削減や園芸との複合営農を推進している。農業所得の向上の観点から、平成29年度の実施をどう総括したか。また、今後の農業振興にどうつなげようとしていくのか聞きたい。</p> <p>(3) U I J ターン関連事業を通じた、本市への若者等の移住・定住の実態や、課題などをどう捉えているか。</p>
---------------------------	--

<p>2. 近藤 彰治 （市民クラブ）</p>	<p>1. 第 6 次総合計画に基づく平成 29 年度の取組について</p> <p>(1) 第 6 次総合計画に掲げた将来都市像「すこやかなまち～人と地域が輝く上越～」の実現に向け、市民生活と関わり深い、教育・医療・福祉の分野を重点に、施策の充実を図った。中でも、子育て支援の強化を喫緊の課題として位置付けながら、子育てしやすい環境整備を進めるとともに、保護者の経済的負担の軽減に資する取組を鋭意推進したと述べているが、成果はどの様に表れてきているのか聞きたい。</p> <p>(2) 3つの重点戦略のうち、第一の「暮らし」の戦略、「“つながり”を育むまちづくり」の取組で、民生委員・児童委員、主任児童委員の負担が増大している実情を踏まえ、活動報償金を増額するとともに、それぞれの活動の実態や委員の配置、担当区域の見直しなどについて意見を聴き、より活動しやすい環境となるよう整備を進めたとしているが、見直しの趣旨や今後どのように進めていくか聞きたい。</p> <p>(3) 第三の「交流」の戦略、「ひと・もの・情報が行き交う仕組みや体制の整備」において、交流人口の拡大と地域経済の活性化に資する施策を検討するため、上越妙高駅乗降客の利用動向調査を継続して実施したとしているが、調査の概要と今後の施策への生かし方について聞きたい。</p> <p>2. 平成 29 年度決算の概要及び特長等について</p> <p>(1) 一般会計の収入未済額については、6.2%減の 14 億 3,645 万円と改善されてきているが、未済額が余りにも大きすぎる。こうした現状を踏まえ、財源の確保と税等の負担の公平性を図るため更なる収納対策を考えているか聞きたい。</p> <p>(2) 財政指標の将来負担比率は前年度の 85.6%から 5.5 ポイント悪化の 91.1%になった。その要因を新水族博物館「うみがたり」を始めとする建設事業費の充当財源として発行した市債の増に伴ったものとしている。今後も公共施設建設等が計画されており、今後の将来負担比率をどのように見込んでいるか。</p> <p>(3) 市は現在、第 2 次財政計画の改定作業を進めていると聞いているが、29 年度決算の状況との乖離修正を含め、計画的な財政健全化を進める具体的な考えを聞きたい。</p> <p>3. 議案第 92 号平成 30 年度上越市一般会計補正予算（第 2 号）について</p> <p>(1) 私立保育所等運営費において私立保育園 5 園が実施する防犯対策について、国の保育所等整備交付金の内示を受けたことに伴い、整備に要する経費を増額するとしているが増額分で具体的にどのような整備をするのか。</p>
-----------------------------	--

	<p>(2) 予備費を増額する要因となった、干ばつと異常高温による農作物等への被害拡大の防止に向けた農業者への支援及び、現行の建築基準法に適合していないコンクリートブロック造りの塀などの撤去又は改修について、現状を聞きたい。</p>
<p>3. 櫻庭 節子 (みらい)</p>	<p>1. 平成 29 年度決算の概要及び特長について</p> <p>(1) 平成 29 年度決算は歳入歳出の分野で概ね堅実な運営が行われたことを評価する。その中で一般会計の実質収支は 32 億円余りの黒字となったが、その要因は何か。また、この結果を市長はどのように評価しているか。</p> <p>2. 第 5 次行政改革の取組状況について</p> <p>(1) 「人材育成・組織風土の改革」の取組において、第 3 次定員適正化計画に基づき着実に進めているが、例えば、過度に職員削減を行い、非正規職員の雇用増大や市民サービスの低下につながっているなどといった課題は生じていないか。</p> <p>3. 平成 29 年度における主要事業の成果について</p> <p>(1) 「産業」の戦略における、新産業の創出の取組の中で、物流の拠点性を生かした企業誘致活動を展開したとある。自主財源の確保のためにも積極的に行ってほしい活動であり、その新企業の進出に伴い当市への移住者が増加していくことが望ましいが、市内の就労者が新企業に転職してしまい、元からある企業が困惑しているという状況も聞いている。この現状をどうとらえているか。</p> <p>(2) 「交流」の戦略においては、市民交流施設高田公園オーレンプラザが開設されて約一年経った。都市公園内に建設されたこの施設の現状と課題をどう総括しているか。</p> <p>4. 議案第 88 号平成 29 年度上越市病院事業会計決算認定について</p> <p>(1) 最重要課題である医師の確保に関し、新たに修学資金制度の創設を考えているとしているが、現時点でどのような内容を想定しているか聞きたい。</p>

<p>4. 橋爪 法一 (日本共産党議員団)</p>	<p>1. 議案第 77 号平成 29 年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 2 款 1 項 1 目一般管理費における職員福利厚生費の「ストレスチェックの実施」について、高ストレス判定割合が受検者の 8%、230 人にもなっている。この原因をどう分析しているか。</p> <p>(2) 2 款 1 項 1 目一般管理費における事務管理事業について</p> <p>ア 「事務事業の総点検に基づく取組や公の施設の再配置などを推進した」、「公の施設の再配置計画に掲げた目標を達成することができた」とあるが、市民の声をどのように反映させたのか。</p> <p>イ 「累積欠損金を抱える第三セクターについては、各団体の将来の方向性を見据えつつ、経営健全化の取組を促していく必要がある」としているが、どう進めていく考えか。また、これに J-ホールディングス㈱はどう関わっていくのか。</p> <p>(3) 3 款 1 項 5 目老人福祉費における敬老祝賀事業について</p> <p>ア 「市と地域が高齢者に感謝の意を表し、長寿を祝福することができ、あわせて、地域や参加者同士の交流等が図られた」と評価しているが、参加率は合併前 15 区で 29.1%、13 区で 23.7%にとどまっている。こうした中、75 歳以下の高齢者にも参加してもらい、交流を促進しているところも出てきていると聞いている。その実態がどうなっているのか。</p> <p>イ 敬老会開催委託料が対象者 1 人当たり 1,200 円から 1,270 円に引き上げられたが、それで十分賄えるようになったのか。</p> <p>(4) 4 款 1 項 4 目環境衛生費における斎場整備事業について、「斎場のあり方について改めて整理し、上越斎場の整備方針について検討を進めた」とのことだが、整理した結果の概要と方向性について聞きたい。</p> <p>2. 議案第 79 号平成 29 年度上越市診療所特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 各診療所における医療器械購入費の状況が示されているが、4 年前の 9 月議会で明らかにされた医療器械の整備計画案はどうなったのか。計画が正式に立てられているなら、どう運用されているかを聞きたい。</p> <p>(2) 今後の課題として、「上越地域医療センター病院を核とした診療体制のネットワーク化について検討を進める必要がある」としているが、これはどういう場で検討していくのか。また、ネットワーク化の目標年度はいつごろか。</p>
--------------------------------	---

<p>5. 田中 聡 (輝)</p>	<p>1. 議案第 77 号平成 29 年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 「うみがたり」を始めとする建設事業もあり、市債が増加したことで将来負担比率が 5.5 ポイント悪化したが、このことについてはどのように評価しているか。また、今後の見通しを聞きたい。</p> <p>(2) 行政改革の着実な実行において、第三セクターの経営改善に向けた取組について、どのように評価しているか。</p> <p>(3) 公の施設の再配置において、事業における一人当たりの公費負担額を算出しているが、この数字に対して市はどのような指標をもっているか。</p> <p>(4) 国の地方創生推進交付金を活用した事業において、「雪室・利雪による地域産業イノベーション」に取り組んだが、成果と課題について聞きたい。</p>
<p>6. 大島 洋一 (創風)</p>	<p>1. 議案第 77 号平成 29 年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 平成 29 年度決算の収支は、実質収支で 32 億 214 万円の黒字だが、実質単年度収支は 3 億 3,191 万円の赤字である。また、財政調整基金も 30 億 560 万円取り崩しており、依然として厳しい財政運営となっていると認識している。市長としてはどのように認識し、また今後の見通しをどう考えているか。</p> <p>2. 第 6 次総合計画に基づく平成 29 年度の取組について</p> <p>(1) 「産業」の戦略の中で、「選ばれる“上越の産品”づくりと市民ぐるみでの魅力発信」に取り組んだとあるが、メイド・イン上越の取組について平成 29 年度の成果と課題を聞きたい。</p> <p>(2) 「産業」の戦略の中で、「まちの未来を切り開く新産業の創出」に取り組み、市内のものづくり企業の持続的な発展と新規分野への参入を促すため、人材育成や新商品・新技術の開発を支援したとあるが、平成 29 年度の取組の成果と課題について聞きたい。</p> <p>(3) 「交流」の戦略の中で、「ひと・もの・情報が行き交う仕組みや体制の整備」に取り組んだとあるが、観光の振興の側面から、平成 29 年度の取組の成果と課題について聞きたい。</p>